

受験番号	氏名
------	----

令和3年度埼玉医科大学保健医療学部一般選抜試験（前期）看護学科2次試験  
**小論文**

注意事項

1. 試験時間は60分。
2. 問題は指示があるまで開かないこと。
3. 解答を書く前に、解答用紙にあるすべての受験番号・氏名の欄に記入すること。
4. 解答は解答用紙に書くこと。
5. 解答はすべて横書きで書くこと。
6. 下書きには問題用紙の余白を利用すること。
7. すべての配布物は終了時に回収する。
8. 質問がある場合は手を挙げて監督者に知らせること。

問1 次の文を読んで、本文を要約したうえで、自分の考えを述べなさい。数字を使う場合は桁数に関わらず、ひとまとまりの数字は1マスに記入してください。(200字以内)

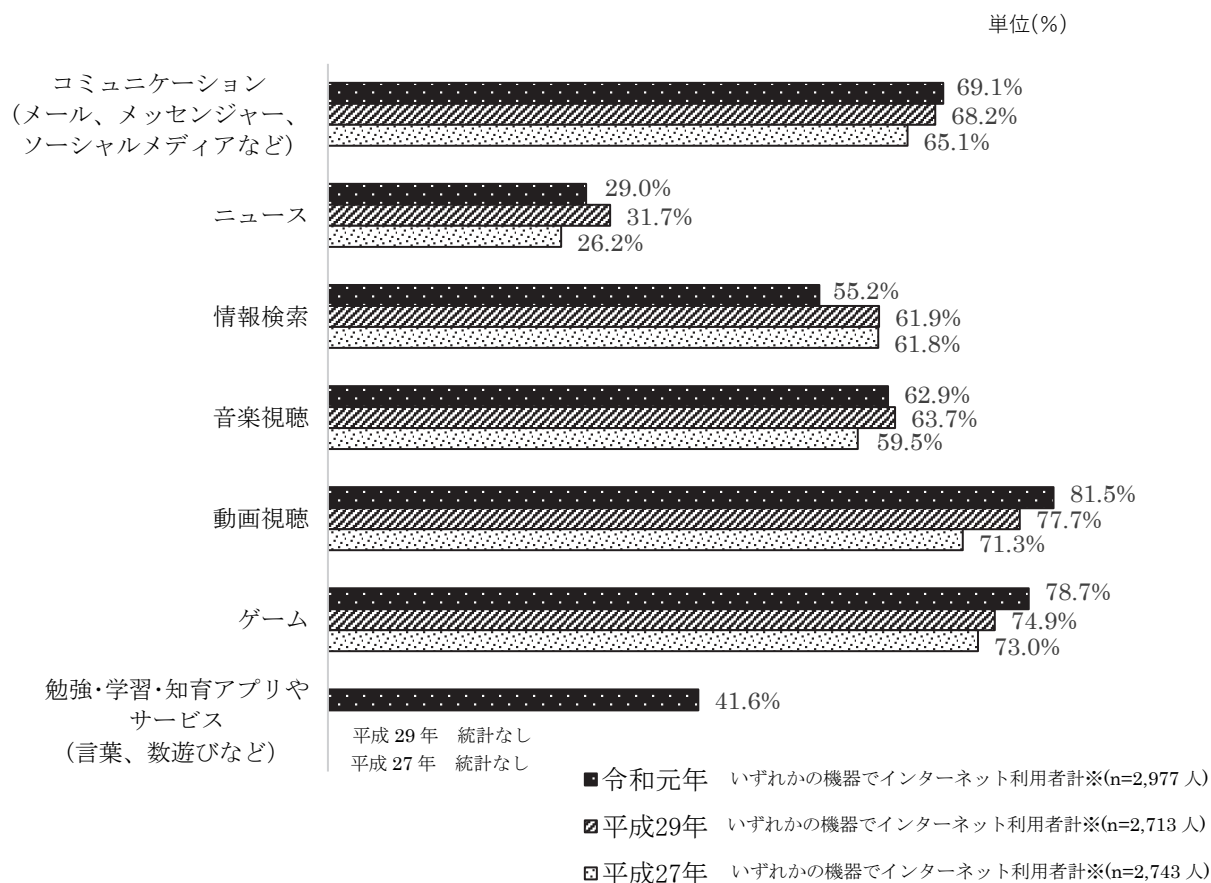
人生100年時代といわれる高齢化社会を迎える中で、医療、介護、健康、資金など高齢化社会を生きるための「キーワード」がメディアで盛んに取り上げられている。数年で60歳になる身としては注目する。これらの「キーワード」が大切なことは当然だが、もう一つ加えるとしたら「学習」というキーワードである。人生でさまざまな経験を積み重ね、高齢になった時に、今後の自らの生き方や社会との関わり方を決めるためには、学びが大切となってくる。

教育の体系は学校教育と社会教育に分かれる。文部科学省は社会教育の管轄省庁でもあるが、どうしても学校教育の方に關心、注目が集まる。「学校を卒業したら勉強は終わり」というのが多くの人の感覚であろう。しかし生涯学習の考え方では、家庭教育、学校教育、社会教育と、人間の成長や生き方に応じて体系的に学んでいくことが必要であるとしている。

「現役時代ならともかく、仕事を退いてまで勉強をするのか」との思いもあるだろうが、織田信長ではないが、人間50年といわれた時代と比較したら、今は健康で長寿になった分、人生を「得」していると考えてはどうだろう。せつかくの人生の「得」をより良いものにしたい。そのために自らの必要性や關心に応じて学んでいく学習は、高齢化社会を生きる上で欠かせないものだと思うが、どうだろうか。

(2020年2月13日 埼玉新聞 「さきたま抄」一部改変)

問2 図1のグラフはインターネットを利用していると回答した青少年(満10歳～満17歳)に、インターネットを使って何をしているか聞いた結果です。図から読み取ったことを述べたうえで、自分の考えを述べなさい。数字を使う場合は桁数や小数点に関わらず、ひとまとまりの数字は1マスに記入してください。(250字以内)



※「スマートフォン」「いわゆる格安スマートフォン」「機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン」「契約期間が切れたスマートフォン」「携帯電話」「機能限定携帯電話や子供向け携帯電話」「ノートパソコン」「デスクトップパソコン」「タブレット」「学習用タブレット」「子供向け娯楽用タブレット」「携帯音楽プレイヤー」「携帯ゲーム機」「据置型ゲーム機」「インターネット接続テレビ」のいずれかで利用内容に回答あり計

図1 インターネットの利用内容

(内閣府:令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査報告書 一部改変)